

三郷市国際交流協会だより

Misato International Association

❖ 編集発行 ❖ 三郷市国際交流協会

❖ 事務局 ❖ 三郷市役所自治文化課内

〒341-8501 三郷市花和田 648-1 TEL 048-953-1111 内線 3022 FAX 048-953-8981

E-mail jichi@city.misato.lg.jp

❖ 第14号 ❖ 2008年2月発行

日帰りバスハイク 「小江戸川越」を満喫



12月2日（日）穏やかな冬晴れの日、外国人と日本人との交流を目的に、紅葉真っ盛りの小江戸川越へ日帰りバスハイクに行ってきました。市内で暮らす外国人21名と日本人はスタッフを含め26名が参加し、三郷市役所を午前8時に出発し1時間ほどで川越に到着。喜多院・五百羅漢などを拝観しました。

昼食後は蔵の町並み・時の鐘・駄菓子屋横町・美術館・博物館など思い思いに、自由散策をして楽しみました。

参加者は、喜多院の紅葉がきれい、時の鐘や日本の古い町並みに感動をしたと話していました。また来年も参加したいとの感想をいただきました。

帰路は道路の混雑もなく定刻の午後4時半には三郷市役所に到着し、楽しい1日があったという間に終わってしまいました。

楽しかった国際交流会&交流パーティー

9月9日（日）に瑞沼市民センターで国際交流会を開催しました。当日は、中国・ネパール・バングラデシュ・スリランカ・韓国・モンゴル・スーダン・ガーナ・日本など9カ国90人ほどの参加をいただきました。体育館ではアトラクションの部として、バングラデシュの歌と踊り、彦川戸囃子保存会による祭り囃子、日本舞踊、中国太極拳が披露されました。パーティーの部では、バングラデシュ・ネパール・スリランカのカレー、スーダンのケバブ、中国の杏仁豆腐・水餃子などの手作り料理を、アトラクションに参加した方を交え一緒に食べ、スイカ割りや炭坑節を踊って楽しみました。初めてスイカ割りをしたネパールと中国のお子さんは、当たらずでくやしそうでしたが、楽しんでいました。

お互いの国の文化を理解することができ、有意義な国際交流会になりました。



「初めての方向のための韓国語基礎講座」



平成19年度新規事業として、11月6日(火)から12月18日(火)まで全7回、午後7時30分から9時までの1時間30分、東和東地区文化センターで韓国語講座を開催しました。定員25名のところ34名の申込みがあり、厳選なる抽選で受講者を決定しました。

講師として三郷市在住の李庸吉氏により、ハングルの読み方、書き方、会話について講義をいただきました。

最終日には多くの受講者から、「毎回楽しく受講することができた」「ハングルが読めるようになった」「期間が短かったので継続してほしかった」など、うれしい感想を聞くことができました。

今回の受講生によりサークルが立ち上げられ、2月から月に2回韓国語教室を続けるとの、報告をいただきました。

三郷市国際交流協会で蒔いた種が大きく育ち、立派な花を咲かせてくれることを願っています。

国際文化交流事業を実施しました

1月20日(日)当協会会員対象に「タイ・フィリピン・中国の文化にふれよう!」を開催しました。

当日は、定員30名のところ大幅に上回る50人ほどの参加をいただきました。



ゲストとしてタイの高橋京子さん、中国のリリンさん、フィリピンのマリデーフトさんたちをお迎えし、それぞれの食文化や習慣の違いなど紹介していただきました。マリデーさんのお友達には、バンブーダンスを披露していただきました。

お互いに意見交換をして、楽しいひと時になりました。



みんなで取り組む多文化共生

～知って・学んで・考えよう～「講演会&交流会」に参加しました

1月19日(土)越谷市中央公民館において埼玉県東南部都市連絡調整会議が主催した講演会が開催されました。この会は、東南部の5市1町で構成する協議会で、広域的な連携を図るための各種事業を実施しているものです。講演会・交流会には当協会から6名が出席しました。

当日は、「災害時の外国人支援」について、ブルネイ・ダラサラーム出身の須田麗子氏による、「新潟中越大地震の際に、被災した外国人の支援に携わった体験談」や国際犯罪通訳、司法通訳等、法務関係を主とした通訳・翻訳に携わる経験からの外国人支援について、貴重な講演をいただきました。

また、NPO法人みんなのまち草の根の会の築瀬裕美子氏による、「草加市国際相談コーナー」に寄せられる外国籍住民からの相談事例の紹介をいただきました。

講演終了後、お茶とお菓子で近隣の参加者と交流を図りました。



三郷市民まつりに参加しました!



11月11日(日)市民まつりが開催されました。当日は前日からの雨で、早稲田公園の芝生広場はぬかっていたようですが、多くの方が参加されました。外国料理の屋台を7店舗出店し、当国際交流協会では無料でホットミルクティーを配布しました。当日は寒かったせいもあって、用意した300個のコップも午後2時ころにはなくなってしまうほどでした。正午頃に太極拳の披露、また、午前11時30分と午後1時の2回、国際理解クイズと紙芝居を行ない、クイズ正解者にはキャンディーをプレゼントしました。

「地球市民フェスタinみさと」

10月28日(日)みさと団地センターモールにおいて、市内で暮らす外国の方や国際交流関係者のボランティアグループ等が協力しあい、フェスティバルを開催しました。各国の物産展、模擬店、文化紹介が行われ、外国人のスピーチ大会、ネパール・インド・バングラデシュの民族舞踊と歌、和太鼓、大道芸人によるパフォーマンスなどがあり歓声が上がっていました。屋台では毎回お手伝いをしていただいている三郷北高校の生徒の顔も見えました。



国際協力講演会&国際理解講座

三郷北高校

青年海外協力隊の元隊員による国際協力講演会と、埼玉県在住の外国人講師による国際理解講座を11月1日(木)に三郷北高等学校にて開催しました。

国際協力講演会では、マラウイ共和国の教員養成学校で高校の教師になる方へ保健体育の指導を行った、川口純氏による「JICA国際協力について」「マラウイの生活の様子」と題して講演会がありました。

出生率が高いが、平均寿命が38歳であることや、昨日まで元気だった子供が次々に死んで行く、そんな中でも、明るく笑顔で助け合いながら生きていることの現状を訴えました。また、国際理解講座ではマレーシア・インドネシア・中国・台湾・ミャンマー・タイ・韓国の各外国人講師により1学年の各教室で母国文化の紹介や日本との違いなど話していただきました。



三郷北高の生徒さんから寄せられた感想

- ☆青年海外協力隊では、物を与えるのではなく一緒に何かをすることだとわかった。
- ☆マラウイの人は心が広く情け深いことを知り、見習うべきだと思った。
- ☆私たちは贅沢しすぎていると思う。生きてくても生きられない国の人がたくさんいるのだから、自殺など考えないでほしい。
- ☆ミャンマーでは、親と神様が同じような存在と聞いて驚いた。
- ☆インドネシアでは勉強は競争だと聞き、私たちも真剣に勉強することが必要と感じた。

早稲田中学校



青年海外協力隊の元隊員による国際協力講演会と、埼玉県在住の外国人講師による国際理解講座を12月5日(水)に早稲田中学校にて開催しました。

ザンビア共和国の小中一貫校での体育指導、教養大学でのワークショップ、地域での運動会の主催など体育の普及活動された、安藤寛之氏による「世界の中の私」～幸せの基準～と題して国際協力講演会を行った。

「人々の優しさや、助け合いながら毎日一生懸命に生きる姿を学んだこと」「毎日学



校に行ける、毎食ご飯が食べられる、きれいな水が飲める、寝る場所がある、日本では当たり前だが、当たり前でない国があること、幸せの基準が一人ひとり違うこと、貧しいから幸せではないという考えが間違っていると感じたことを語っていました。また、国際理解講座ではマレーシア・中国・ミャンマー・タイ・インドネシア・フィリピン・韓国の各外国人講師により1学年の各教室で母国文化の紹介や日本との違いなど話していただきました。



早稲田中の生徒さんから寄せられた感想

- ☆ザンビアでの体育の授業の写真やビデオを見て、ザンビアのことがよく分かった。
- ☆安藤さんの話を聞いて世界にすごく興味を持った。
- ☆アフリカに対する偏見があったが、勝手な偏見はいけなかったと感じた。
- ☆インドネシアの竹の楽器を演奏して楽しかった。
- ☆タイの文字で名前を書いてもらったが、不思議な文字で外国にすごく興味を持った。
- ☆韓国のいろいろな行事を知ることができた。また、改めてあいさつの大切さを実感した。

中国で活躍する日本人からメールが届きました



「とっても近くて親しい国」を願う

現在、私は青年海外協力隊の看護師隊員として中国の湖北省の病院で活動をしています。

「近いのに遠く感じる国」以前はそう思っていました、実際に生活してみると中国人の人情の厚さを日々感じます。土地柄、戦争経験者や日本に対して快く思っていない方も多いはずですが、「これから少しずつ親しくなっていくよ」と言ってくれる多くの患者さん、家族のように生活をサポートしてくれる同僚に囲まれています。ボランティアとして来たはずが、支えられることばかりです。「とっても近くて親しい国」と多くの人が感じるようになることを願ってやみません。

青年海外協力隊 18年度1次隊
中華人民共和国 湖北省孝感市中医医院
佐倉 未穂（三郷市出身）



一番親しい患者さん家族と共に

三郷市少年野球連盟創立35周年

11月23日（日）鷹野文化センターで、市長をはじめとする多くの来賓をお迎えし、三郷市少年野球連盟創立35周年記念式典が盛大に開催されました。

連盟では、平成10年度から選手に「国際感覚を身につけさせたい」との方針により、国際軟式野球協会に加盟し海外の選手との交流を図っています。

その一環として昨年夏には、17の家庭がホストファミリーとして中国少年野球チームの選手団をホームステイで受け入れました。また今年は、北京オリンピック開催の年であり、ホストファミリーの方が中国野球少年に会いに行きたいと話していました。



会員募集中!!

協会では、随時会員を募集しています。諸外国の方々との交流や協会の国際交流活動に参加してみませんか？国際交流に関心のある方ならどなたでも会員になれます。

入会をご希望の方は事務局までお気軽にお問い合わせください。お待ちしております。

❖年会費❖

個人会員 年額 2,000円（学生は1,000円） 家族会員 年額 3,000円
法人会員 年額 10,000円 団体会員 年額 10,000円

❖事務局❖ 三郷市国際交流協会事務局（三郷市役所自治文化課内）

〒341-8501 三郷市花和田648-1 TEL048-953-1111 内線3022

❖平成19年度 会員数❖

個人会員 90人 家族会員 12家族
法人会員 9法人 団体会員 11団体

外国人の町会活動



町会ふれあい広場事業

ご主人が男のお子さんを連れて赤い羽根の募金の集金をするなど、町会役員として家族で活動しています。

高州1丁目上町会役員

11月18日（日）県営みさと公園で、高州・東町地区11町会による防災訓練が行われました。

訓練は、てんぷら鍋の消火・簡易トイレの組立、タンカでの救急搬送訓練、トン汁・おにぎりの炊き出しなどを行い、参加者の中には、地区内に暮らす、普段から町会活動に参加している、フィリピン女性たちの姿もありました。

また、高州1丁目上町会では、町会の班長を務める台湾人とフィリピン人のご夫婦が住んでおり、奥さんが女のお子さんを連れて広報を配り、

平成20年度三郷市国際交流協会総会開催（予定）

日時 平成20年 5月25日（日）午前10時から
会場 三郷市立瑞沼市民センター
議題 平成19年度事業報告、決算報告、平成20年度事業計画案、予算案

☆会員皆様のご出席をお待ちしております。

総会終了後、同会場にて懇親会の開催を予定しています。

